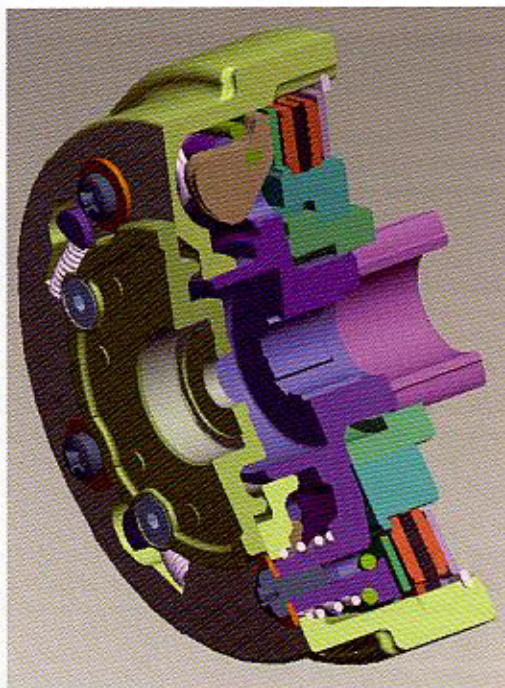
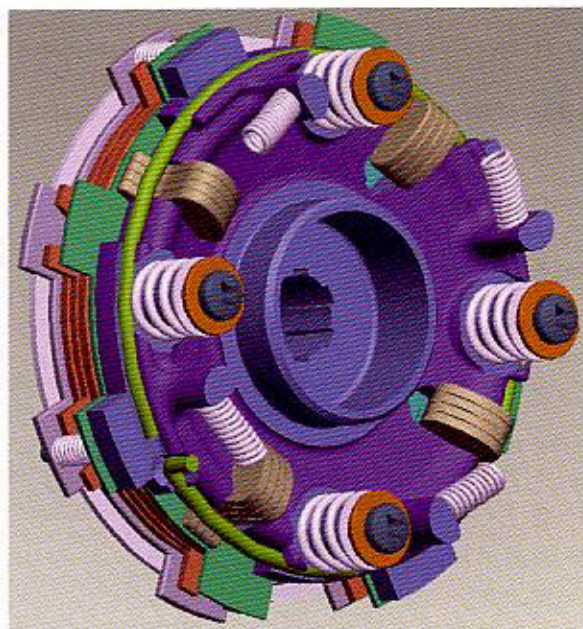


メカニカル3D・CAD科

関口 健太郎



自動遠心式クラッチ

1st YEAR

1-I. 住宅
 1-D上部に浮遊する平付部屋。柱
 間基地のような子供部屋で子供は
 自然を成長させ、親は遠慮な距離
 をもって見守る。
 お互いが同じ場所ですごし、かつ
 自立できる住宅をめざした。

1-II. アトリエのある住宅
 入り口から続く大きなスロープが、
 表通りの喧騒から、次第に奥の静
 かなプライベート空間へ導く。

1-III. 3世帯住宅
 平面的には地と調の考えを取り入
 れ、空間的には各世帯が固有する
 外廊、共有する外部をつよいう
 計画し、多様な顔面を考えた。

1-IV. 谷中劇場
 基地の柱石木を背景にした大劇場。
 劇場下部を利用した外廊シアター
 などで構成される。周囲環境に配
 慮してボリュームをおさえ、大き
 なブリッジは劇場という非日常空
 間へと導く橋となる。

2-II. 中村美術館増築
 正方形の薄層体画に対峙し、
 円形・三角形を組み合わせた
 空間をつくった。

2-I. インフォメーションセンター
 神楽坂の土手に浮かぶ高低差
 の建物。好きな場所に壁かけ、
 水屋を共有する。

STUDIO WORK 061
 THE FACULTY OF ARCHITECTURE UNIVERSITY OF TOKYO
 Naoko Miyauchi
 061 061

Creative Review
March 2007

2nd YEAR

2部 建築科